

10/28 自分たちの植えたお米を収穫

エコティかわねが主催した「稲刈り体験」が地名の田畑で行われました



刈り取った稲を天日に干す「おだかけ」に挑戦

本川根小学校5年生と中川根南部小学校1、2年生の児童が、地名区で稲刈り体験をしました。

6月の田植え体験から4カ月ほどが経ち、待ちに待った収穫の時。無農薬で丹精込めて育てられた「あいちのひかり」を、児童たちは、使い慣れない鎌に悪戦苦闘しながら夢中で収穫していました。

収穫した米を口にした本川根小5年生の大村晃雅さん（桑野山区）は「初めての体験で、とてもおもしろかった。獲れたてのお米は固かったけど、少し甘い味がした」と話しました。

11/6～7 徳山区民の力作並ぶ

2年に1度開催される徳山ミニ文化祭が開催されました

徳山コミュニティ防災センターで、区民が作成したちぎり絵や絵画、手芸作品などの展示や、日用品を持ち寄ったバザーなど、徳山ミニ文化祭が行われました。

会場には、町内外から約180人が来場。園児から高齢者までの作品数十点が並び、訪れた来場者は、力作ぞろいの展示会に魅了されていました。

来場者を迎えた植田修さん（徳山区）は「住民の文化的な交流活動を支える文化祭、今年も開催できて感無量です」と声を弾ませました。



「上手に描けているねえ」と作品を眺める来場者

選手の皆さんを応援します！ 10/29

市町対抗駅伝大会の協賛企業 ダイードリンク株式会社が来庁



目録を手に笑顔の石原支店長(右)と藺田町長(左)

12月4日に開催される市町対抗駅伝に協賛しているダイードリンク株式会社が役場を訪れ、スポーツドリンク約300本を寄贈しました。寄贈式で同社の石原正一中部第二支店長は「選手の皆さんが走る姿に毎年感動をもらっている。これからもそんな皆さんの後押しを続けていきたい」と話し、藺田町長に目録を手渡しました。

藺田町長は「毎年変わらないお力添えに本当に感謝している。大会に向け練習に励んでいる選手たちを、町も一致団結して応援したい」と力強く話しました。

11/4 教育行政推進の功績を称えて

令和3年度地方教育行政功労者表彰式が執り行われ大橋慶士氏が受賞



「個人としてでなく、町とともに受賞した」と話す大橋氏

先月27日、地方自治体の教育行政推進に顕著な功績があった方を表彰する「地方教育行政功労者表彰式」が行われ、今年3月に教育長を退任した大橋慶士氏が文部科学大臣賞を受賞されました。

大橋氏は就任当初から本町の教育改革に着手し、特にICTを活用した次世代教育や持続可能な学校づくり・町づくりを基盤とした義務教育学校への再編を進めてきました。

この日、役場を表敬訪問した大橋氏は「川根本町のように、小規模な町ならではの教育を進めることが子どもたちの将来につながっていく」と未来を見据えて語っていました。

壮大に輝き、目の前に流れ落ちた光に、思わず手を伸ばした

10月30日、大井川鐵道株式会社と株式会社イケブンの共催による花火の祭典「大井川鐵道花火の旅～川根花火路～」が開催され、千頭駅前と高郷の夜空をおよそ5千発の花火が彩り、訪れた見物客を魅了しました。

文化会館や川根大橋には、県内外から200名以上の観客が詰めかけ、目の前で行われた花火ショーを堪能していました。名古屋市から訪れた男性は「こんなに近くで見ることができるとは思わなかった。貴重な時間を体験できた」と満面の笑みで話しました。

高郷区の自宅前で花火を眺めた女性は「幼い頃に見た隅田川の花火を思い出した。眼前に流れ落ちてきた火の粉に、思わず手を差し伸ばしていました」と語り、「また機会があったらぜひ見たい。あまりの美しさに息をのみました」と笑顔で続け、次の開催に期待を込めて話しました。

